

プロジェクト名	石油脱硫触媒からのモリブデン(Mo)/バナジウム(V)回収プラント実証
企業名	太陽鉱工株式会社
事業実施国	マレーシア
類型	類型1・類型2・ 類型3

事業概要

【想定事業スキーム】

太陽鉱工株式会社

100%出資

太陽鉱工投資開発株式会社
(日本国内のSPC)

62.5%出資

Taiyo Koko Malaysia Sdn. Bhd.

【概要】マレーシアの製油所で発生する使用済み脱硫触媒から、バナジウム及びモリブデンを抽出・分離・精製するための技術実証を行う。

本事業を通じて、製造した五酸化バナジウム及びモリブデン酸を全量日本に輸出することにより、特定国への依存度を低減し、サプライチェーンの強靭化に貢献する。

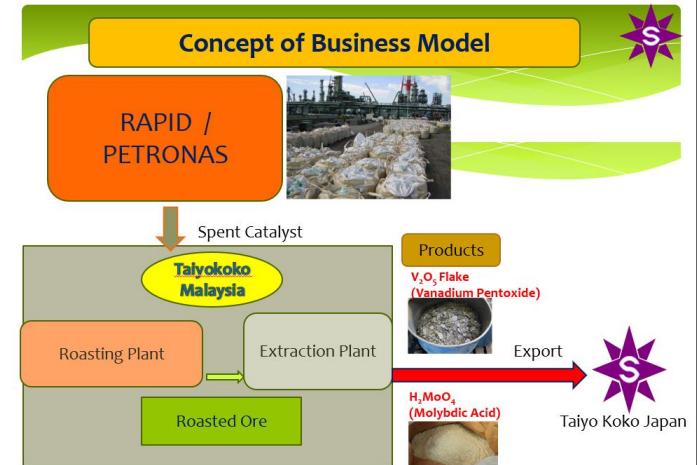
【実証事業の総経費】約120億円
(うち補助対象経費17.8億円)

【スケジュール】

2024年12月着工計画

2027年1月竣工計画

【事業イメージが分かる図や写真】



対象とする商材の特定国依存度の変化

バナジウムは、輸入量の約70%を特定国(中国約47%、チエコ(原料鉱石としてロシア産を使用)約23%)に依存している。

本事業の回収量約400トンV/年は中国からの輸入量約1,400トンV/年の約30%に相当し、特定国からの輸入量を約20%、依存度を約15%それぞれ低減させることが期待される。

結果生じる日本の生産拠点としての魅力度向上効果等

バナジウムは、高張力鋼や構造用鋼等の特殊鋼に使用される他、航空機部品用のチタン合金の母合金、レドックスフロー電池の電解液の原材料として使用される等、鉄鋼産業や化学産業に重要な素材である。

本事業により特定国に依存しているサプライチェーンを多角化することでサプライチェーン強靭化に寄与する。また、海外でバナジウム中間体を回収し、日本の工場で精製することで、日本の生産拠点における価値を向上する。